［有明抄］（2018.5.１０）

○県や市町などは、このように鳥、木、花などをシンボルとしています。

佐賀県のほか、自分が住んでいる地域について調べてみよう。

	佐賀県		（　　）市・町・村	
	シンボル	いわれ（理由・由来）	シンボル	いわれ（理由・由来）
マーク				
鳥				
木				
花				

↑この他に何かあれば記入しよう。

○佐賀県や自分が住んでいる地域のシンボルとしたらいいなと思うものをあげてみよう。

シンボルとしたいもの：

理　由：

さが維新塾

年　　組　　号（氏名）

○今日の有明抄にタイトルをつけてみよう。

有明抄

「カァー、カァー」。集団でやってきて生ごみをあさる。時には攻撃的になることも。厄介な鳥の代表のようにいわれるカラスだが、意外にかわいい一面がある。それは「贈り物」だ◆米国シアトルの８歳になる女の子が、自宅の庭でピーナツをトレーに載せてカラスに与えていた。すると、ピーナツがなくなったあとのトレーにプレゼントが置かれるようになった。イヤリング、ぼたん、小さなプラスチックの管…◆贈り物は人間以外にはあまり見られない社会的行動。だが、同様の話は次々と舞い込み、中には「ｌｏｖｅ」と印刷されたハート形の飴もあったという。『鳥！　驚異の知能』（ジェニファー・アッカーマン著）には、こうした興味深い生態が紹介してある◆最近、とんと見かけなくなった佐賀の県鳥カササギも社会的な知能が高い。カササギは、鏡に映った自分の姿を認知する。ある実験で６羽のカササギの喉元に赤い点をつけておいたところ、２羽が鏡の中の自分を見て、体についた点を脚で取り去ろうとした◆きょうから「愛鳥週間」。地球上には２千億～４千億羽の野鳥がいると推計されている。カラスも立派な愛鳥の対象だ。鳥たちの騒ぎや、ふん害に悩まされることは多いが、木の枝で独り物思いにふけっているように見えることも。かけがえのない命がそこにある。（丸）

35　30　25　20　15　10　5